

【方針3】 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

【施策の柱1】 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

本年度も、感染症対策に留意した上で、人生100年時代を豊かに生きるために、生涯を通じた学びの場、市民が主体的に行動する学びの場を整備していきます。

近年、少子高齢化等により社会の構造変化が起きる中、地域社会の課題も多様化していることから、市民が地域に関心を持ってもらう機会を創出することを目指して、地域に関する学習や地域の人材を活用した講座を行っていきます。

そのほか、青少年の体験活動の機会の減少も、新型コロナウイルス感染症の流行により拍車がかかっています。そのため、これまでの背景を念頭に置いて、体験事業等を企画・実施するとともに、青少年育成団体の活動を支援することで、体験や交流の場を確保していきます。

生涯を通じた学びの場の充実を実現する取組として、趣味を通じた新しい仲間との出会いや、教養を深める場所を提供することなどを目的に、様々な分野のまちづくりセンター講座を実施します。また、家庭教育力の向上を目指し、家庭教育支援員等地域人材のネットワーク化を進める取組を継続して行います。

青少年体験交流事業については、気仙沼市大島の宿泊先の高齢化や長距離移動となるリスクなどの課題があったため事業の見直しを行いました。リニューアルにあたり、名称を「無限∞のキズナ²⁴」とし、新たな研修地を長野県伊那市周辺といたしました。

研修では、「キズナ学習」、「地域交流プログラム」、「体験プログラム」を関連付けて実施し、次世代リーダーの育成を図っていきます。「キズナ学習」は本事業の核となるプログラムであり、受講生たちは「最高のチームを作ろう」を目標に班の仲間同士で様々な題材やグループ学習を通じて意見をぶつけ合い、チームとしての結論を導き出します。「地域交流プログラム」では、地域の方との交流を通し、地元への愛着と地域を盛り上げようとする熱い想いに触れます。「体験プログラム」ではニュースポーツや自然体験活動などを通して自然の雄大さに触れつつ、チームの一員としての自分の考え方や行動について学びます。

本事業に参加することで、交友関係の輪を広げる、地域の大人と交流を広げ、コミュニケーション力・課題解決能力を身につけることを目指していきます。

また、ANAグループとの協働により、航空関連のキャリア教育プログラム「ミライつく〜る」を実施します。事業内容は、小学6年生の希望者120人が、パイロット、キャビンアテンダント、整備士等、5つの職種に携わる現役社員の仕事にかける想いに直接接触れることで、夢を追いかけることの大切さなどを学びます。

そのほか、成年年齢の引下げに伴い、従来の成人式は「富士市はたちの記念式典」と名称を改め、人生の節目を祝う機会として引き続き実施し、18歳の新成人に対しては、祝意メッセージとともに富士のほうじ茶一煎パックを送り、成人の門出を祝います。

また、青少年の健全育成に向け、非行防止のための補導活動を行うなど、青少年を取り巻く環境をよりよいものにしていきます。

²⁴ 「キズナ無限∞の島」事業の後継事業として、「異年齢・異学校交流」、「仲間の大切さ」などの基本コンセプトは引き継ぐこと、市民にも“キズナ”の愛称で浸透していることから、「キズナ」の文言は残すことをベースとして考案した新事業名称。

各施策の重点事業（☆新規事業）
<p>【施策①】生涯を通じた学びの場の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区まちづくりセンターを会場に、新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深める身近な場を提供することを目的として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方々を対象に様々な分野の講座を開催する。 自ら学んだことを還元する意欲のある市民を応援し、民間団体の活性化を図るとともに、市民のニーズに応える魅力的な講座を提供するため、市民や民間団体が主体となって開催する「市民プロデュース講座²⁵」や「オープン自主グループ講座²⁶」、「みんカル講座²⁷」を実施する。 豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶため、各専門分野に精通している教授や著名な講師等を招き、富士市民大学²⁸を開催する。
<p>【指標に関する取組】 <u>新しい趣味や仲間づくりを目的としたまちづくりセンター講座の実施</u> 【指標】 講座を受けたことによって、学ぶ意欲が高まったと回答した参加者の割合 【R4実績/ R5目標/R8目標】 94.1%/100%/100%</p>
<p>【施策②】地域ぐるみの社会教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりセンター講座等において、地域の資源や魅力を知る学習や地域の人材を活用した学習、地域活性化に資する学習等を目的とした「人づくり講座」を継続して実施する。 地域の未来を担う人材育成のため、小学生等を対象に少年教育講座を実施する。 家庭の教育力向上を目指し、家庭教育支援員²⁹など、地域で活躍する人材のネットワーク化を進めるため、家庭教育支援員等への学習機会の提供や交流の場づくりを継続して行う。 小中学校入学前の保護者を対象とした子育て講演会を継続して実施するとともに、未就園児とその保護者を対象とした家庭教育講座を実施する。 地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるため、学校と地域の連携・協働と地域学校協働活動³⁰の充実に向けた取組を支援する。
<p>【指標に関する取組】 <u>人づくり講座の実施</u> 【指標】 講座を受けたことによって、富士市・地域の魅力や課題を知ることができたと回答した参加者の割合 【R4実績/ R5目標/R8目標】 91.8%/100%/100%</p>

²⁵ 市内で活動している団体や市民が企画・運営する講座。市民主体の地域づくりや地域の担い手づくりを推進することを目指している。

²⁶ 同じ趣味や興味・関心を持つ仲間が集まり、まちづくりセンターで活動している自主グループが開催する初心者向け体験講座。

²⁷ 趣味教養・仲間づくりを目的とする講座のうち、市内で活動している民間団体が企画・運営する講座。民間団体が得意とする分野の講座を、まちづくりセンターで展開し、地域に根付いた魅力的な講座を目指す。

²⁸ 前期ミニカレッジは各専門分野の教授や有識者等と連携して開催、後期講演会は各分野で活躍する著名な講師による講演会を開催している。

²⁹ 静岡県家庭教育支援員養成研修で、家庭教育支援の知識とスキルを学んだ人。行政や学校と協力して、保護者会、懇談会、家庭教育講座等の保護者が集まる場で、子育てについての悩みや不安を話し合う会等の進行や、情報提供を行うなど、保護者の学びの支援を行う。

³⁰ 地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体、機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。

【施策③】 新たな時代を生き抜く次世代の育成

- ☆青少年体験交流事業をリニューアルし、名称を「無限∞のキズナ」と改めるとともに、舞台を長野県伊那市周辺に移して、次世代リーダーの育成等を行う。
- ・岩手県雫石町との少年交流事業を富士市で実施し、地元の特色を学習しながら相互交流と集団生活を通じて、他人への思いやりの心を養う。
- ☆キャリア教育プログラム「ミライつく〜る」を実施する。
- ・青年の主体的な社会参加を促すため、青年教養講座を実施するとともに、受講生同士の交流の場を企画し、仲間づくりと社会貢献活に参加するきっかけを提供する。
- ・青少年の非行防止のため、声掛けをはじめとする補導活動や環境浄化活動を推進する。

【指標に関する取組】

青少年体験交流事業の実施

【指標】 青少年体験交流事業参加者の満足度

【R4実績/R5目標/R8目標】 --%/100%/100%

その他の事業

- ・ 市政いきいき講座
- ・ 青少年育成団体への活動支援
- ・ 「富士市はたちの記念式典」の実施



白樺湖（「無限∞のキズナ」実施予定地）

〔施策の柱2〕 市民の学びの場である図書館の充実

図書館は、生涯学習の拠点として市民に読書機会の提供や学びの支援を行っています。

近年は、市民のライフスタイルが多様化し、時間的な余裕のない中高生や、交通手段がない高齢者等の来館することが難しい市民が増え、読書機会が少なくなっていることが課題となっています。

このような市民の学びを生涯にわたって支援していくため、誰もが気兼ねなく利用しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、生涯学習に必要な多種多様の資料を収集・提供し、課題解決のためのレファレンスサービス³¹に努めます。また、来館することが難しい市民のためには、移動図書館を2台体制として巡回場所や回数を増やすなど、遠隔地での利便性の向上を図ります。

令和4年度に提供を開始した、いつでもどこでも資料を利用できる電子図書館については、小中学生向けの電子図書を中心に収集するとともに、より一層の利用を促進するため、サービスの周知に努めます。

子どもの読書活動推進については、引き続き「第三次富士市子ども読書活動推進計画³²」に基づき、読書環境の整備、読書機会の提供、読書活動の啓発・普及に取り組みます。

さらに、本と人、そして地域をつなぐ人材育成の取組として、活動する場や情報を提供し、スキルアップ講座等を開催することで、読書関係団体及びボランティアを支援します。

各施策の重点事業（☆新規事業）

【施策①】生涯にわたる読書習慣の推進

- ・蔵書構成を考慮した多様な資料の収集・提供を行うとともに、所蔵資料のデジタル化による記録保存を推進する。
- ・来館せずにいつでも利用できる「ふじ電子図書館」等のICTを活用したサービスの利用を促進する。
- ・移動図書館の巡回先の幼稚園、保育園等での職員による読み聞かせや、外部のイベントへの参加により読書活動の推進を図る。
- ・にぎわい図書館デー³³を周知し、利用しやすい雰囲気づくりを行う。

【指標に関する取組】

市民の読書活動の推進

【指標】一人当たりの図書貸出数（電子書籍含む）

【R4実績/ R5目標/R8目標】7.2点/7.4点/8.2点

【施策②】本・人・地域をつなぐ人材育成

- ・資料や情報、活動場所の提供により、読書関係団体を支援する。
- ・ボランティアのためのスキルアップ講座を開催し、ボランティアの技術向上や人材の育成を図るとともに、活動が円滑に行われるよう支援する。

【指標に関する取組】

ボランティア養成講座の開催

【指標】ボランティア養成講座の参加者数

【R4実績/ R5目標/R8目標】176人/180人/200人

³¹ 図書館の資料を使い、調べ学習や調べ物のサポートをするサービスのこと。

³² 子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものという考えから、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、そのための環境整備を推進するための計画。

³³ 毎週土曜日と日曜日をにぎわう日に設定し、赤ちゃんが泣いたり、幼児がおしゃべりしたりしてもよい雰囲気づくりをすることで、幼い子ども連れも市民が利用しやすいようにしていく事業。

その他の事業
・ウェブサイトや各種 SNS、市広報、報道機関を活用した図書館の情報（資料案内、イベント案内、活動紹介等）の発信
・文学講演会、ビジネス支援講演会、各種講座、おはなし会の開催
・「ブックスタートふじ」、「セカンドブックふじ」事業の実施
・「富士市図書館協議会」「富士市子ども読書活動推進協議会」の開催
・まちづくりセンター配本の充実



新移動図書館



点訳講座

〔施策の柱3〕 ころ豊かな市民文化の創造

文化財については、少子高齢化等に伴う文化財の滅失や散逸等が危惧されることから、地域社会全体で文化財を適切に保存し、活用していくため、国の認定を受けた「富士市文化財保存活用地域計画³⁴」を基本として周知・啓発を図り、その理念を地域住民と共有し、文化財に対する意識の醸成を図っていきます。

また、国・県・学識者・市民の意見を伺いながら国指定史跡「浅間古墳」の保存活用計画の策定を進めていくとともに、市指定史跡「千人塚古墳」の保存整備を進めるための実施設計を行っていきます。

その他、旧女性活動センター及び敷地の利活用を検討するため、土地の測量を実施し、基礎データとなる実測面積の把握と隣接地との境界確定を行います。また、市指定有形文化財「ディアナ号の錨」は、地域における管理と利活用の利便性を考慮し、より活用が期待できる場所への移設と長期保存に耐え得るよう防錆工事を行います。さらに国重要文化財「古谿荘」については、引き続き国・県とともに建物修理に係る助成を行います。

博物館業務については、本市及び本市近隣市町の歴史・文化に係る調査研究を行い、企画展や展示会、体験講座等を開催するほか、小中学校等への見学対応や資料の貸出を行うとともに、まちづくりセンターや地域包括支援センター等への出前講座を開催します。

また、博物館本館をはじめ、附属棟や分館、屋外展示施設の経年劣化に対応するため、適正な維持管理及び修繕を引き続き行うとともに、文化財資源を後世にわたって伝え、保存し、本市の歴史と文化を楽しく学べるよう、文化財建造物等の活用に努めます。



市民歴史講座



火おこし体験（大淵一小）

³⁴ 市町村において取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、当該市町村における文化財の保存・活用に関するマスタープランであり、アクション・プランである。文化財の保存・活用に関して当該市町村が目指す将来的なビジョンや具体的な事業等の実施計画を定め、これに従って計画的に取組を進めることで、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用が一層促進されることから、計画を広く周知し、地域住民の理解・協力を得ることにより、地域社会総がかりによる、より充実した文化財の保存・活用を図ることが可能となる。

各施策の重点事業（☆新規事業）
<p>【施策①】芸術文化の振興 （市民部文化スポーツ課による執行事業。）</p>
<p>【施策②】文化財の保存と活用</p> <p>☆文化財保存活用地域計画推進協議会、史跡保存整備委員会を開催する。 ☆国指定史跡「浅間古墳」の保存活用計画を策定する。 ☆市指定史跡「千人塚古墳」保存整備事業の実設計を行う。 ☆市指定有形文化財「ディアナ号の錨」について、管理・活用の利便性を考慮し、移設と防錆工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士市文化財保存活用地域計画の周知・啓発を行う。 ・旧女性活動センター等の実測面積把握・境界確定のための土地測量業務を行う。 ・国重要文化財「古谿荘」修復に係る助成等を行う。 ・市民歴史講座等、歴史・文化に関する普及啓発を行う。
<p>【指標に関する取組】 <u>文化財に関する講座、イベント等による文化財の保存・活用の促進</u></p> <p>【指標】文化財普及活動に参加した人数 【R4実績/ R5目標/R8目標】 131人/200人/700人</p>
<p>【施策③】学びの場である博物館の充実</p> <p>☆第60回企画展「東海道にかける富士の橋」を開催する。 ☆県指定文化財「旧稲垣家住宅」の修繕及び小屋裏防腐処理を行う。 ☆東平遺跡復原建物周辺樹木伐採・強剪定を行う。 ☆ふるさと村歴史ゾーンの屋外消火栓消防ホースの更新を行う。 ☆文化財建造物等の保守管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種体験講座及び出前講座を開催する。 ・ウェブサイトの充実・博物館収蔵品データベースの整備を行う。
<p>【指標に関する取組】 <u>小中学校や高齢者団体による博物館資料を活用した学習支援事業の利用促進</u></p> <p>【指標】博物館資料を活用した学習支援の件数 【R4実績/ R5目標/R8目標】 69件/70件/165件</p>
その他の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の開催 ・文化財説明板の整備、修繕 ・埋蔵文化財発掘調査事業（民間開発に伴う確認調査、本発掘調査） ・発掘調査資料の整理及び発掘調査報告書の作成（天間沢遺跡発掘調査報告書等） ・博物館収蔵資料の調査整理作業（六所家旧蔵資料、山崎家文書ほか） ・富士山及び富士山南麓かぐや姫伝説に係る資料の調査収集